

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
☎ 042-795-7361 (FAX: 必
要に応じて186を頭に加える)
議会 042-724-2171
yoshidaben@gmail.com



公立小中学校統廃合反対の理由

今度の議会では、学校統廃合に関する請願が3本も議論されました。当該校は、南成瀬小と南第二小、町第三小と本町田東小と本町田小、及び前議会から継続審議された南第三小の各校です。結論を言うと、その全部が不採択(否決)となりました。私はその1件に紹介議員にもなっていたので、3本の請願全部に賛成しました。今後も、町田市教育委員会と町田市は、今後町田市の人口が減っていくものとして学校の統廃合を今から計画的に実施する必要があるとしており、各地で学校統廃合が現実問題として出てくるでしょう。

他方で町田市は人口増の施策として、多摩都市モノレール延伸、小田急多摩線延伸を重要施策として進めています。併せて、中心市街地の大改修を想定しています。それらの成長政策がどこまで本気が不明ですが、JR東海が自力で進めるリニア中央新幹線工事が本格化し、2030年の初頭には相模原市橋本にリニア駅ができ、近隣の交通ネットワークが大きく変容していきます。(続く)



廃校が議会でも決められた南成瀬小学校

市民病院の導入予定機種

町田市民病院では、前期に導入した手術支援ロボット(ダヴィンチ)が、年度末時期に入りましたが、以下のように問うた結果、令和5年度の新年度予算に導入する機種はもっと早期に入る予定であることがわかりました。新しい機種を期待する意味から健康福祉常任委員会で質疑したものです。

その説明によると、「全身用MR装置1.5テラ」は超電導磁石式ということで、X線を使用しないことで、放射線被ばくを無くすものと理解できました。「結石破碎装置」は、衝撃波を用い、体にメスを入れることなく結石を破碎できるということで、泌尿器科の治療のメイン機種になるのではないのでしょうか。

それぞれの機種とも、「オーダーメイドの製品か、既製品か」と言う問いかけをしました。理由は、その導入時期を問うたもので、予算が通った後、詳細な仕様内容が決まり、入札・発注が行われ、メーカーが注文に合わせた設定を行い、納入の手順になります。その後、医師の習熟期間があり、実際の治療に供されることとなります。前年のダヴィンチの導入時期より、数カ月は早まる感触でした。



◎町田市で、水耕栽培メロンの世界一決定戦を開催しよう!

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、
夏季の第52期生を募集開始

市長のやる気を問う質問

久し振りに公の前に顔を見せた石阪市長に、今回の一般質問で「元気ですか」と尋ねました。実は、この質問をした趣旨は別にありました。と言うのも、これまで議会の本会議における少なからぬ議員質問に対して、市長が「担当者に答えさせます」と言う言葉で済ませていることに「異議を唱える」ためのものでした。市長は、自分が好きなテーマの質問や(気に入る)特定議員にのみ自分が直接応えていると感じていたからでした。大勢の市民に選出された議員がその代弁書として発言しているのですから、それを小ばかにしているのが市長の態度だと感じてきました。

私自身は、ベテラン(8期目)ですので、市長が答弁しようが、部長が代弁しようがその責任は「町田市」の主張、言い分と割り切っているので構いませんが、市民の方が傍聴席にある場合には、(古風でしょうが、)市長自身が答弁するのが礼儀ではないかと考えた次第です。

今回の質問でも、市長が答弁することを想定していませんでしたが、職務復帰後の話もしていました。以前には、私が聞いてもないことで、石阪市長が突然発言した例がありますが、今後は、市長は新人や若手の議員には、もっと丁寧に対応するべきだと思っています。



私の議長時代。壇上で
発言する石阪市長の姿

町田市立国際工芸美術館建設を 反対する一番の理由

令和5年度の予算で目玉は、(仮称)町田市立工芸美術館の建設工事予算です。私が所属する「無所属」会派(3名)は、その関連を含めた費用を削除した修正案を提出し、他の議員を含めた10人の賛成者を得ましたが、市長を支持する主流派に敗退しました。これによって、令和8年3月の完成を目指して関連工事が一気に進んでいくでしょう。市長の任期に合わせているという意見もあります。



出品した展覧会では、「鼻煙壺」のそれぞれ
が1個の作品としてカウントされます。

工芸美術館の建設工事には総額40億円に上る予算がつけ込まれていきますが、町田市が収蔵する工芸品がそれに値するか、それとも無駄な大型箱物を造るに過ぎないかという評価が大きく分かります。写真の「鼻煙壺」(中国の清代に流行した、嗅ぎ煙草の小型瓶制の入れ物)は、町田市の自慢のコレクション(約350個も収蔵)の一群です。私にはそれらが公共博物館展示の風格に合うものとは思えませんが、果たして、幾人の議員がそれを確かめた上で工芸美術館の建設賛否を決めたのでしょうか。はなはだ疑問です。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2023年春までに104名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

